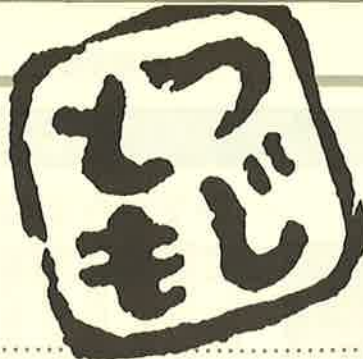


衆議院議員 社会民主党

辻元清美 国政報告 NEWS

つじとも通信 VOL.17
2009・12・7



社会新報

Social Democratic Party
発行所 社会民主党全国連合機関紙協同 発行(水曜日発行)
〒100-8008 東京都千代田区千代田1-6-1 電話 03-3508-7055 FAX 03-3508-3855
●定価(税込)1冊150円(送料別)

号外

[高槻事務所] 〒569-0805 大阪府高槻市上田辺町 6-20 寺本レヂデンス 2F TEL 072-685-0631 FAX 072-686-2396
[国会事務所] 〒100-8982 東京都千代田区永田町 2-1-2 衆議院第二議員会館 305号 TEL 03-3508-7055 FAX 03-3508-3855
URL ● <http://www.kiyomi.gr.jp/> E-mail ● info@kiyomi.gr.jp 本誌の記事、写真等の無断転載・複写を禁じます。

辻元清美の巻頭言

国民目線でグランドデザインを書きかえる

「希望を見失った政治から希望を紡ぐ政治へ」

苦悩と希望は友だちや。希望を求めるから苦悩するのであって、あきらめたりなげやりになったら苦悩もしません。そして、いまの新政権も、希望を求めるからこそ苦悩しています。

副大臣に就任してもうじき三ヶ月。すでに一年くらい続いているような濃密な日々が続いています。

私はいま運輸・交通・観光・危機管理担当の副大臣として、JAL再建対策本部事務局長、緊急雇用対策本部、地球温暖化の鳩山タスクフォースメンバー、観光立国推進本部などを兼務。そこに社民党国会対策委員長、女性青年委員長などを加えると、何足ものわらじを履き替えるながら、永田町と霞ヶ関だけでなく全国を走り回っています。そして、十二月十日からはベトナムでの日本とアセアンの交通大臣会合に日本の代表として出席します。

政府のなかに入って予算や税制、審議会メンバーなどあらゆる見直しを行う中で思うのは、

前政権が残した「負の遺産」を処理するには、いまがギリギリのタイミングだということだと思います。

私は国交省に残された「負の遺産」は二つあると思います。一つ目は、無駄なハコモノづくりにかたよった予算と経済戦略。たとえば、作り過ぎた空港が航空産業に大きくのしかかり、赤字を生み出し続け、競争力と経済成長の足をひっぱっていることなどが最たる例です。

ダムや高速道路、整備新幹線など、何が必要かを一つずつ点検している最中です。

二つ目が、業界団体の要請を中心に決めてきた政策決定プロセス。これからは利用者である生活者、市民の立場からしっかりと点検し直します。

私は来年度の通常国会で「交通基本法」を制定する方針を表明しました。「あらゆる人が移動する権利を国としてきちんと保障する」という新しい概念をもとに、交通弱者といわれる高齢者やハンディキャップを持つ人、経済的に苦しい人の目線

にたつた、そして環境に配慮した交通政策へと地方分権でシフトさせていきます。

政治家が自分の地元で大型プロジェクトを誘致し、税金を落とすことで力を誇示し、一部の業界とくっついて選挙応援してもらおう——そんなしくみが長年続いてきたことで、不必要なものも日本中に生まれました。このシステムそのものを変えなければなりません。

国民目線をもとにこれらをつたなりセットし、日本のグランドデザインを書き換える作業を、国交省が率先してやらなく

てはいけません。それは大変だけれど、とてもやりがいのある作業です。

結局、政治主導とは国民主権と同じ意味。現政権の「苦悩」は、古い政治のもとで苦しめられてきた人たちの「希望」を紡ぐためではなくてはなりません。

だから私は、決して現政権で憲法を変えさせません。「つかい棒」になって、内側から憲法、そして平和を守るのが私に与えられた使命だと思っからです。

「負の遺産」を整理するのは誰がやってもしんどい作業。だけれど、国民のみなさんが選んだ政権だから、いっしょにがんばれる。そんな思いで取り組んでいきたいと考えています。

辻元清美



11月13日、参議院国土交通委員会で答弁。



つじもと通信版 霞ヶ関航海記

辻元副大臣走る！

みんなが住みたいといふ国に変えていこう

8月の選挙の後、がむしゃらに走り続けた3カ月間。「国交省、初めて入りました」という国会秘書が辻元清美の背中を通して見た、怒涛の「霞ヶ関航海記」！

●9月第1週

八月三十日の選挙が終わり息つく間もなく、翌々日に辻元は永田町へ。スタッフも慌てて後を追う。

連立協議のカギは沖繩・辺野古問題、憲法と地球温暖化については社民党の強い訴えで項目が新たに設けられる方向だ。

辻元は各党国会対策室に就任あいさつ。民主党の部屋を訪れると、フラッシュの洪水。山岡国対委員長いわく「女性初の国対



9月29日、中国建国60周年祝賀レセプションで、六者協議で実務を務めた実力者である孔絃佑公使と。

●9月第2週

連立協議も大詰め。三党幹事長協議で、合意はほぼ固まった。この間の経緯を朝日新聞コラムニストの早野透さんは「辻元さんは(略)ひそかに岡田幹事長に連絡、『マネIFEST』に書いてあることも書けないの」と迫った。民

党のある幹部は「連立協議の表向き交渉の裏で、社民党の忍者のように辻元清美がぎりぎり話してきた」と述懐する」として、「連立合意は社民党の粘り勝ちとなる。それをもちたしたのは『福島瑞穂の逆噴射』と『忍者辻元の裏交渉』と表現(二〇〇九・九・一七、朝日新聞「ポリティカにっぽん」)。

早野さんはこうも書く。「比例区の得票は、民主党二九八四万票に対し社民党三〇〇万票である。得票比例なら、社民党

●9月第3週

一六日、初登庁。そして初の与党国対委員長会談。委員長人事などをめぐって、自民党は攻勢に出ている。辻元も「この連立政権がどんなにいい政策をつくっても、国会を通らなければ意味がない」と臨戦態勢……ところが翌一七日、国交副大臣に任命され、長い長い一日が始まった。

屋過ぎには大量の祝電が届き、次々来訪者が。国交省の事務方と、明日からの日程管理や副大臣任務について猛スピードで調整。

初登庁の辻元を迎えるため国交省では、夜遅くにもかかわらず、若手の職員たちが階下に降りて待っている。「有名人がくるぞ」「自転車に乗って登庁したら伝説だよな」との会話が聞こえる。なんだか楽しそう。そして認証式、副大臣会議(二三人中女性は辻元だけ)を終えた辻元「副大臣が到着、万来の拍手。

すべてが終わり解放されたのは午前一時。

●9月第4週

連休を返上して国交省につめ。前原大臣を先頭に政務三役(大臣、副大臣、政務官)で「まずは補正予算の見直しを」と議論+作業。ある日は九時間かけて政務三役会議と勉強会、ある日は担当者と膝を詰めて予算の優先順位を検討。社民党の政策審議会スタッフとともにムダ遣いを探す。その間、副大臣室の模様替え(ヒカソンの「ゲルニカ」を飾る、整理棚をつくるなど)に余念のない辻元。

辻元の担当は、運輸や観光、危機対応など。連休明けの職員に対するあいさつでは「守る力と変える勇氣をもとう」と呼びかける。終了後JAL幹部とメガバンクからヒアリング。

翌日は国交省内の現場にあいさつ。警備員室や電話交換室なども回ると、かえって驚かれた。部屋に戻ると補正予算の数字とにらめっこ。党の打ち合わせ、陳情対応と、国交省↓党本部↓議員会館をめまぐるしく移動(スタッフは車に同乗したり、自転車でも追ったり)。「いつ災害が起きるか分からない」と、合間を縫って長靴を買いに。

●10月第1週

JR西日本の情報漏えい問題に怒り心頭の日々。補正予算の見直しが終わったが、次は二週間で来年度予算の概算要求の見直しが始まる。期限は二週間。国交省の各部署と、課題をざっくばらんに話す。観光庁とは「あれもやろうこれもやろう」と盛り上がる。合間に政務三役会議が入り、大々



つじとも通信版 霞ヶ関航海記

多所彩々 ～清美が行く～ 辻元清美の活動報告

※日程が多すぎるため、大巾な抜粋となります。

9月

- 1～2日 地元各方面に当選のご報告。
- 3～4日 連立協議下打ち合わせ。各党へ国対委員長の就任ごあいさつ。
- 4日 連立政権協議打合せ。
- 5日 小沢福子府会議員学習会（高槻市）。
- 8日 武大偉外務次官面談。
- 13日 テレビ出演『報道2001』（フジテレビ）、『サンデープロジェクト』（テレビ朝日）。
- 16日 本会議・首班指名。
- 17日 日本商工会議所総会（東京）。
- 18日 副大臣認証式。初副大臣会議。初登庁（国土交通省）。初政務三役会議。
- 24日 国土交通省職員へあいさつ。政務三役会議。
- 25日 政務三役会議。社民党ブロック事務局長会議。
- 28日 政務三役会議。
- 29日 政務三役会議。社民党政策セミナー2009。中国建国60周年祝賀レセプション（東京）。

10月

- 1日 副大臣会議。観光庁発足記念行事懇談会。省所管事項説明。

- 4日 政務三役会議。概要要求打合せ。
- 4日 高槻市民ふれあい運動会。高槻市食祭。
- 5日 社民党三役連絡会議。政務三役会議。
- 6日 三党幹事長・国対委員長会議（東京）。JAたかつき大会（高槻市）。
- 7日 政務三役会議。
- 8日 副大臣会議。
- 9日 福知山事故家族会要請（東京）。連合20周年第11回定期大会（東京）。
- 12日 橋下徹大阪府知事と面談（大阪）。アジア太平洋航空局会議（大阪）。
- 13日 社民党閣僚連絡会議。
- 14日 副大臣就任記者会見。第16回鉄道の日祝賀会（東京）。
- 15日 副大臣会議。岩波書店「世界」インタビュー。社民党全国幹事長会議。
- 16日 地球環境行動会議（GEA）国際会議。
- 17日 日中韓観光大臣会合（名古屋）。
- 19日 緊急雇用対策本部事務局会議。
- 20日 ニカラグア駐日大使面談。運輸関係業界団体ヒアリング。国土交通省政策会議。
- 22日 羽田空港視察（D滑走路、新管制塔）。
- 25日 高槻みらいフェスタ。
- 26日 両院議員総会。臨時国会開会。第1回国土交通省成長戦略会議。
- 27日 地球温暖化問題に関する閣僚委員会・

副大臣級チーム会合。国土交通省政策会議。

- 28日 本会議・代表質問。
- 29日 副大臣会議。JAL タスクフォースからの報告。本会議・代表質問。
- 30日 第1回JAL再建対策本部。

11月

- 2日 橋下徹大阪府知事面談（東京）。
- 3日 筑紫哲也没後1年シンポジウム（東京）。
- 5日 国土交通省政策会議。第2回JAL再建対策本部。
- 8日 国政報告会「永田町航海記」（高槻市）。国政報告会「永田町航海記」（島本町）。
- 12日 副大臣会議。〈参議院〉国土交通委員会・大臣所信。大臣所信。ブラジル港湾担当大臣表敬。
- 13日 〈衆議院〉国土交通委員会・大臣所信。懇談会〈在外被爆者支援の会〉。交通基本法討会。
- 14日 オバマ米大統領講演会。
- 15日 政務三役会議。
- 16日 幹事長・国対委員長会議。第2回成長戦略会議。
- 18日 〈衆議院〉国土交通委員会・所信質疑。外務委員会。第3回成長戦略会議。
- 19日 〈参議院〉国土交通委員会・所信質疑。外防委員会・所信質疑。
- 20日 つじとも国会ツアー。〈衆議院〉国土交通委員会・質疑。

のがある。国交省で一番広い会議室で行われる

10月第3週

● 副大臣の仕事には、与党議員への説明という

10月第2週

● 補正見直しの記者会見。前政権でつくられた



9月30日、スウェーデンラジオ取材。日本で男女平等は進んでいるか、という問いに、「残念ながらまだまだです」と辻元。社会の意思決定に関わる女性が少ない現状を、政府に入ってますます実感。



10月8日、帰国した海上保安庁のインドネシア沖地震緊急援助隊から挨拶を受ける。

「政策会議」。第一回の会議は、朝八時から議員・秘書合わせて三〇〇名が参加した。「ハツ場ダム・川辺川ダムの中止」「JALの経営再建策」など重要課題を説明。質問が続ぎ大幅延長、その後記者会見。

前原大臣の「羽田空港ハブ化発言」について森田千葉県知事と面会。すごい報道陣の数、ニュースをつくる側になったことをますます実感。

国際会議への出席も多い。アジア太平洋航空局長会議（DGCA）に参加。アジア太平洋地域の各国の航空当局責任者が一同に会して、航空安全や技術協力などについて意見交換を行った。

そして就任記者会見。公共交通機関のバリアフリー化や、人に優しいまちづくりをすすめる「交通の憲法」―交通基本法をつくりたい、と辻元。

またこの日、官邸に立ち上がった「緊急雇用対策本部」の事務局メンバーに選ばれる。本部長は鳩山総理、本部長代行は菅副総理、副本部長に福島大臣が入って、各省が力を合わせ、

つじとも通信版 霞ヶ関航海記



きよみのいちにち

副大臣就任後、文字通り「分きざみ」のスケジュールをこなす毎日。ある一日のスケジュールをご紹介します。

08:30 官邸にて副大臣会議。

09:30 議員会館に移動、いくつか面談後国交省へ。

10:20 租税特別措置をめぐり、業界団体からヒアリング。

11:00 人事課と打ち合わせ。

12:30 カレー弁当を食べながらスケジュールの打ち合わせ。

13:00 中国からの観光客誘致について観光庁長官と協議。終了後、議員会館へ。

13:20 今国会の提出法案について打ち合わせ。終了後、社民党代議士会へ。

14:00 本会議。

15:00 終了後、国交省へ。JAL再生タスクフォースのみなさんから、最終報告書を提出していただく。

16:20 副大臣室で質問主意書の決済。

16:30 鳩山総理提唱のCO²排出量マイナス25%達成のための運輸・建設部門に関する地球温暖化防止対策を打ち合わせ。

16:50 鉄道関係者から高速道路無料化に関する要請。終了後国会へ移動。

17:10 院内で民主党の山岡国対委員長と会談。終了後官邸へ。

18:15 地球温暖化問題に関する閣僚委員会・副大臣級検討チーム。有識者からヒアリング。

20:00 衆議院議員面会所で社民党議員団として派遣法改正の請願を受ける。

20:30 会合。携帯がなり、「海難事故」を伝えるメールが届く。無事を祈りつつ、続報を待つ。

22:30 会館へ戻り、明日開かれる交通基本法勉強会の資料を整理。たまったメールや連絡事項に目を通す。

24:00 資料を鞆につめてて宿舎へ。入り口で記者が明日開かれるJAL再建対策本部についてコメントを求めてくる。先の日海難事故は現段階では官邸に参集する指示はでないが、安否が気がかりだ。資料を読みながら待機状態は続く…。

新政権では独立行政法人の理事などを公募にする方針が決まり、国交省関連法人の募集や採用の手順などを確認する。

日程が次々変更になるのを優先順位にあわせて整理。

明日の参議院本会議で、答弁が発生するかどうかはまだ不明。とりあえず待機。



10月30日、交通基本法検討会準備会合。各部局からの出席者は約50名。横断的に交通政策を検討する。

予算が一息つくくと、今度は税制改正。業界団体からのヒアリングを副大臣・政務官で手分けして行うだけで二日ばかり。連立合意を受けて、二三日の閣議で生活保護の母子加算の復活が決定！一二月から支給される。これぞ新政権の成果だが、来年度分一八〇億円のメドはたない。立法措置も含めた、更なる議論が必要だ。

●10月第4週

▼つじとも通信版。辻元は国交省に關連する諸政策を受け持つ。早速「年越し派遣村」を運営したNGOメンバーらを副大臣室に呼んで協議。関係各局も呼んで「アイデアを出そう」とハツパをかける辻元。三日間で国交省案をまとめあげ、対策本部に提出。なおこの週末は名古屋で日中韓観光大臣会合に着物を着て参加。「大変好評でした、はい」（随行した国交省秘書官・談）。

●10月第5週

臨時国会始まる。辻元は国交委員会以外の委員会でも答弁するため、国会対応に追われる毎日。資料作成から何からこれまでとは違う手順なので、辻元もスタッフも手さぐり状態。

委員会の前日、質問者は質問を事前通告する。そこから答弁づくりが始まるが、二二時、二三時……野党質問が出てこない。しかも通告されていない質問の方が多く、結局は現場対応。

また、国交省の「成長戦略会議」がスタート。劇作家の平田オリザさんら各界の識者がタブーのない議論をかわす。

この時期、官邸にJAL再建対策本部が設置された。国交省、財務省、厚労省などの副大臣で対策を協議するこの会合、辻元が事務局長に選ばれ、省庁間の意見調整に奔走。



10月16日、GEA（地球環境行動会議）国際会議。鳩山総理、小沢環境大臣とともに、日本政府の代表として、地球温暖化問題について、抱負を述べる。



つじとも通信版 霞ヶ関航海記



10月30日、第1回日本航空再建対策本部。事務局長として会議を運営。

衆参の国土交通委員会が始まる。これから本格的な論戦だ。第

●11月第2週

橋下徹大阪府知事も面談。関西三空港問題についてもタフなき議論をしよう、と確認。

辻元。

●11月第1週

連日JAL、JAL。対策本部の会合は早朝や深夜。歩くたびメディアに取り囲まれ、主不在の国会事務所にも、ひっきりなしにメディアの姿が。一日にJALの中間決算報告があるため、早急に政府の意見をまとめねばならず、またも「忍者」のように飛び回る辻元。

●11月第3週

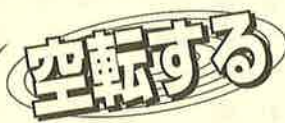
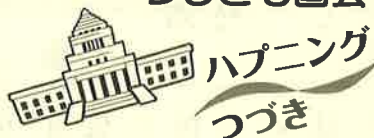
一回交通基本法検討会スタート。有識者を招き活発な議論。国会事務所は、連日電話と陳情。要請ラッシュ。市民団体だけでなく、様々な団体から申し入れ。それをさばくだけでフラフラ。メディアからの出演・取材要請もひっきりなしだが、時間がとれずはお断り。

国会運営をめくり、与野党の話し合いが続く。辻元は与党国対委員長・幹事長会談に出席。この日は第二回成長戦略会議も開催。二〇時まで活発な討論。

会議中も、めまぐるしく日程変更の連絡が入る。明日はつじともネットの国会ツアーという前日、ついに国会が不正常化。午後開催予定の本会議は日をまたいで午前二時、まだ終わらない。国会事務所でおにぎりを食べつつ、明日の準備を進める。

「しおり」を作りながら考える。明日のことは明日にならないと分からない。だからこそ、辻元がよく言うコトバを思い出す。「いま自分でできることを精一杯がんばるしかない」。見据えるべきは一〇年先の未来だ。おお、やっと本会議終了。午前二時半だ。副大臣をしっかりと迎えよう。

つじとも国会ツアー 2009 報告



国土交通委員会も傍聴

11月20日、地元の支持者を中心に呼びかけ、国会ツアーを行った。希望者が多く、高槻事務所のスタッフも含めると総勢60名の大所帯となった。年齢層は下は17歳から上はなんと92歳まで。こんなに大勢の見学者を迎えるのは辻元事務所でも初めての経験なので、何日も前から綿密な計画を練っていた。広い国会で誰も迷子にならないように、タイムスケジュールも人員配置も完璧に組んだはずだった。

しかし、その日の国会は、亀井大臣のいわゆるモラ

トリアム法案が採決された結果、野党（自民党・公明党）が審議拒否をするなど大波乱。ツアー当日のすべてのスケジュールが不透明となった上、その日の朝になって大変更、急遽開かれた国土交通委員会の傍聴が出来たのはラッキー。スタッフは慌てまくりの一日だったが、副大臣室を見学中に前原大臣が訪れるという嬉しいハプニングもあって、参加者の皆さんにはおおむね喜んでいただけ、有意義な国会ツアーになった。



自民・公明の欠席で空転する国土交通委員会を傍聴。「いつ質問が始まるの？」



本会議場を見学、「上から見ると案外せまいんやね」



議事堂前で写真撮影、半分より向こうに行くと「こちらは参議院なので」と衛視さんに注意されます。



議員会館の地下食堂で遅い昼食、服部良一衆議院議員が駆けつけてくれました。



国土交通省にバスが着くと上の副大臣室から声が。辻元副大臣が手を振ってお出迎え。



副大臣室で。前原大臣の訪問にみんな大喜び。

佐高 信さん―対談

日本を何とかしよう

「週刊金曜日」11/27号誌上で、辻元清美と佐高信さんの対談が行われました。タイトルは「辻元清美が語るハツ場ダム、JAL、政権交代」。一部を抜粋して掲載します。



佐高信さんと対談

事だし、まず謝らなければと少し身構えていた。でも、お会いしたら「がんばってください」と。同席していた若い官僚はそんな経験がなかったので涙が出そうになった。

その後、予定外で前原大臣も三分ぐらい話を聞いたんですよ。被害者家族は、こんな話を聞いてもらったのはじめてだと。抗議でなく、安全対策のために国交省に力を貸しますと言ってくれた。

佐高 そういう関係なら、これから前に進めそうね。

佐高 自社さ政権と今度の政権の違いはありますか。

辻元 今度の政権は有権者が選択した政権だということ。政権の性質で言えば、大臣と副大臣と政務官が中心になって政策を根本からすべて見直すという方法は自社さのときとは大きく違います。

ただ、この数年の安保政策は、投票行動においては民主党も国民新党も社民党も一緒だったわけです。た

とえば在日米軍再編法案やおもいやり予算、テロ特措法、憲法を変える手続き法なども、ともに反対でした。
佐高 辻元さんの専門分野の安保でいうと、政権交代したから、今度は国内でなくて、交渉相手は米国になる。これは、たいへんなように見えるけど。

辻元 社民党が政権に入ったのだから、民主党・国民新党と一丸となつて米国と交渉してゆくといいです。「社民党対民主党」みたいな報道もあります。が、実態は違う。

で、オバマ政権をどう見るか。沖繩・辺野古の基地一つとっても、きれいな海をつぶしてしまふ。環境に対して積極的なオバマ政権と前政権とは違う。そういうところを米国と議論してゆきたい。

それから沖繩の歴史を考えると、戦争で多くの人が亡くなり集団自決もあり、戦後も米兵のひき逃げやレイプで泣き寝入りしている人がたくさんいる。そういう現状を自民党政権は米国に伝えてないんじゃないかと思うことがある。ですから岡田外相に、その根本から伝えて下さいと提案してるわけです。

それともう一つは自民党がなぜ、辺野古に一〇年以上も基地をつくれなかったのか。そういう歴史がある沖繩で基地をつくることに対する

「非合理」が、つくらせてないんだと伝えたらどうですか。その上で強引に米軍再編を進めたら、何の問題解決にもならない。米国にとって合理的な選択じゃないことを説得すべきです。

佐高 つまり、環境とか歴史も含めて大田昌秀さんが沖繩知事時代に米国に行ったように、実態を知っている人たちの声を伝えるパイプ役になれということですね。

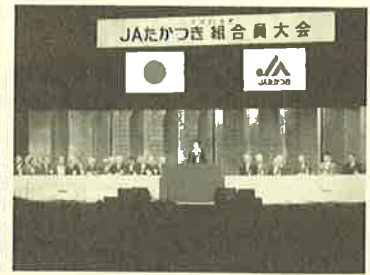
辻元 岡田外相も鳩山首相も、「選挙で基地はいらないと訴えた議員がすべて当選した、これが民意なんだ」と米国にはつきり言う。これは今までなかったことだと思います。（週刊金曜日）09年11/27号より抜粋）



11月3日、筑紫哲也さん没後1年記念追悼シンポジウム
(立花隆さん、田中秀征さんらと)

清美 近畿

▶10月4日、高槻城跡公園で開催された「食祭」で、おしいうどんに舌鼓。



▲10月6日、JA たかつき大会で。「若い人が希望を持って働ける農業に」と挨拶。



▲10月12日、大阪で開かれたアジア太平洋航空局長会議の前に、橋下徹大阪府知事と会談。



▲10月12日、高槻野見神社の秋祭り。



▲11月1日、島本町の文化祭で色々な作品を鑑賞。



▲10月25日、地元のコミュニティセンターのお祭りで、子どもたちに声をかける。



▲10月25日、副大臣就任後初めての街頭演説会、JR 高槻駅南側で。



▲11月8日、島本町と高槻市の2会場で国政報告会。どちらの会場も立ち見が出る大入り満員。



みなさまから
いただいた
ご意見のコーナーです。

- ◆世の中ってこんなものだと言っていたが、全部ひっくり返る時代が来ました。この先が楽しみです。がんばって下さい。
(高槻市・Yさん)
- ◆今、若者の自立支援の団体に係ってます。「自公」政権の時に閣議決定された若者支援対策のための予算が、民主政権でも実行されることを切望します。
(新潟市・Oさん)
- ◆国税、つまり市民の税を使わなくても、NPO 法人への寄付を社会福祉法人なみにして、市民力を高めるとか、できることありそう。
(神奈川県・Nさん)
- ◆地方分権、地方主権の流れをさらに加速させていただきたいとときに願います。
(八尾市・Tさん)
- ◆「日本をトータルに売り出そう」清美さんらしい提案です。
(大阪市・Yさん)
- ◆新政権、よく勉強してますネ。特に国交省。前原氏にも

気迫が感じられます。幅広く、心広く、ゆとりを持ってご活躍下さい。
(奈良市・Hさん)

- ◆原則にこだわりすぎないように、ベストよりベターで。自民党復活に手をかすことにならないよう気をつけて下さい。
(富山県・Oさん)
- ◆自公時代には副大臣が何してるのか気付きませんが、今回はどの省も副大臣がすごく働いているのが見えています。
(東京都・Mさん)
- ◆60余年の結果を直すのです、時間がかかるのは当たり前です。あせらずに。
(千葉県・Oさん)
- ◆「クルマ優先から人間優先」の総合交通政策を早急に確立してください。公共交通は瀕死の状態です。極端にクルマに偏った投資を1%公共交通に振り向けるだけでも地域再生効果は大きなものがあります。公共交通対策をお座なりにしたままの道路建設推進、高速道路無料化は地域の死を意味します。
(愛知県・Kさん)
- ◆辻元さんが国交省に行ったことが、「あれが暮らしやすくなった転換点やったよね～」と将来語られるような仕事して下さい。みんなみてますよ!(島本町・Kさん)

きよみ!
インフォメーション

永田町航海記

キヨミが語る「新政権だからできたこと、

2009年12月19日(土)

入場無料

in 島本 13:00 ~ 14:30

島本町ふれあいセンター年長者座敷

in 高槻 18:00 ~ 19:30

高槻現代劇場(新館) 2F 展示室

保育あります(今回は高槻会場のみ/ご予約ください)

新春 永田町航海記

「政権の内側から国政を語る、

と き: 2010年1月30日(日)

午後 2:00 ~ 4:00

入場無料

保育あります。

ところ: JA たかつき 2F

コミュニティホール「豊饒の間」

■高槻市役所向い側

JR 高槻駅より徒歩約8分

阪急高槻市駅より徒歩約10分

※国土交通副大臣の任務のため、
緊急の公務が入った場合中止になるときもあります。
必ずご確認ください。



高さ 594mm x 幅 420mm

辻元清美特製カレンダー 2010

毎年ご好評をいただいている
カレンダー、今年も作りました。

**絶賛
発売中!**

A2 サイズ 1枚もの

定価 300円 (送料210円)

同封の返信用ハガキか、メール・電話・FAX
でお申し込みください。代金はカレンダーに
同封の払込用紙にてお支払いください。
(tel:072-686-2395 fax:072-686-2396
mail:info@kiyomi.gr.jp)

つじともネット会員募集中!

会報「つじとも通信」を年2~3回お届けするほか、
国政報告会「永田町航海記」などのご案内を差し上げます。

一般会員:年 3,000円
サポート会員:年12,000円

※毎月1,000円の郵便貯金自動引き落としもご利用
いただけます。

学生会員:年 1,000円

個人特別賛助金:年50,000円/一口
(寄付金扱い・上限30口迄)

※団体・法人からの会費・寄附金のお申し込みは
できません。

郵便振替 00960-3-150256

加入者名 辻元清美とともに!

市民ネットワーク

闘う辻元清美にご支援を!

「つじともネット」へのカンパのお願い

果敢に闘い続ける辻元清美をご支援ください。
毎回のお願いで誠に恐縮ではありますが、ぜひご協
力をお願いします。

郵便振替 00960-3-150256

加入者名 辻元清美とともに! 市民ネットワーク

※なお、政治資金規制法により、「つじともネット」へ
の寄付金は日本国籍の個人に限られています。

お願い 副大臣規範により、関係者との食事なども厳しく禁止されております。贈り物(飲食物も含めて)も辞退
させていただきます。ご理解いただきますようお願いいたします。